

◆服装・持ち物

(1) 服装

- ①服装は、P29野外活動に適した服装を参考にし、準備してください。
- ②帽子は、頭の怪我や熱中症を防止するため必ず着用してください。

(2) 持ち物

- ①水 : 熱中症や脱水症を防ぐため、登山ではこまめに水分を補給します。コースにもよりますが小学生の場合1人1リットル以上を持たせてください。
- ②タオル : 汗を拭いたり、首元の日焼けや虫が入るのを防ぐために使います。
- ③雨具 : 両手が使え、そで口・足首を覆える、上下が分かれているもの(セパレートタイプ)を準備してください。ポンチョは避けてください。

◆実地踏査

事故の回避、児童・生徒の安全確保のために、事前に実地踏査(下見)を行ってください。団体独自で実地踏査を行う際には、事前に自然の家に連絡をお願いします。トランシーバーをお貸しします。

◆登山支援ボランティア

(1) 登山支援ボランティア

- ①有償ボランティア … 謝金4,000円(ボランティア1人1日につき)
- ②役割 … 当日の登山案内、実地踏査案内、植物や地勢等の説明
※児童・生徒への指導、指示・掌握は団体引率者が行ってください。

(2) 手続き方法

- ①夏型事務手続き資料集にある「登山支援ボランティア依頼申込書(夏型)」(HPよりDL可)に、必要事項を記入し、FAX等で自然の家へ送付してください。(※依頼決定後なるべく早めに)
※登山・トレッキングコース、出発地、出発時間、自然の家への立ち寄り時間を必ず記入してください。特に後烏帽子・石子方面の場合は出発地(自然の家・えぼしスキー場駐車場)の記入は必須です。
- ②登山支援ボランティアと調整し、内諾を得てから団体にFAXで連絡します。その際、ボランティアへの連絡先等個人情報(明記できません)は、FAX着信後自然の家にご連絡ください。必要事項をお伝えします。
※登山支援ボランティアへの謝金の領収書は、団体であらかじめご準備ください。
※団体独自の実地踏査(下見)等で登山支援ボランティアを依頼する場合にも、謝金が発生いたします。

◆ゴンドラ利用 注意:利用は16:00までです!

(1) 利用該当コース

○後烏帽子・石子方面(上り、下り)、聖山平からの下山(下り)等

- (2) 手続き方法 ※下記は、通常の手続きとなります。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2～3年度は、えぼしリゾートへ要相談となっています。利用を希望する場合は、えぼしリゾートに直接交渉し、結果について所にも連絡をお願いします。(令和4年度の運行については要確認)

- ①「ゴンドラ利用証明書(夏型)」を、当日の朝(緊急車両立ち寄りの際)に提出してください。自然の家所長印を押し、原本(支払い用)とコピー(乗り場用)をお渡しします。
- ②支払い えぼしスキー場管理事務所にて現金でお支払いください。
 - ・利用者割引……片道430円 往復650円(児童・生徒、引率者同額)
 - ・引率者特別割引……児童生徒の1割(四捨五入)の人数分が無料です。※金額は、令和3年度料金です。
※登山支援ボランティアが同行する場合は、引率者分としてご負担ください。

2 野外炊飯活動…4時間程度(日帰り利用の場合は要相談) ※詳しくは野外炊飯の手引きをご覧ください。

- 山小屋・テントに宿泊する団体は、その日の夕食、翌日の朝食は野外炊飯となります。宿泊の団体でも炊飯場に空きがあれば、昼食・夕食で野外炊飯を実施することが可能です。日帰り利用団体は、宿泊団体の野外炊飯活動がなければ利用可能です。また、利用申込みは、利用日の6週間前までです。
- 利用決定後、利用日の1か月前までに必要な書類を提出してください。
- (1) 開始時刻が15:00を過ぎると夜の活動に影響する可能性がありますので、余裕のある日程を組んでください。
 - (2) 最大24グループまで可能で、1グループの人数は8人～10人です。引率者だけのグループは作らないでください。
 - (3) スピード朝食準備については、「かまど係」「飯ごう係」は朝食準備に関わらないので、山小屋・テントの清掃等、事前に何らかの活動を割り当てておいてください。
 - (4) 野外炊飯を行う場合は、「夕べのつどい」はありません。
 - (5) 準備物として、軍手・ふきんを1人1枚必ずお持ちください。団体として、スチールウールなどをお持ちいただくと鍋や飯ごうを洗う際に便利です。